

代替医療講演会

3種郵便物認可

京 都 新 聞

音楽療法実践しよう

中京で集い「難病、治癒力高めて」

音楽で心を癒やし、健康回復へつなげる「音楽療法」への理解を深める集いが二十六日、京都市中京区のハートピア京都で開かれた。専門家が楽器を手に、パーキンソン病患者や家族と一緒に歌いながら実践を呼び掛けた。

薬だけに頼らない治った曲から聴き始め、療法を知ってもらおうと、「パーキンソン病になりたい」という雰囲気の音楽に切り替えれば、自然治癒力が引き出される」と話した。

淡海音楽療法センター（大津市）の呉竹英一理事長（68）は、実際に自身もギターを弾きながら「赤とんぼ」などを歌った。京都橋高の生徒による和太鼓の演奏もあり、入院中のパーキンソン病患者を含む参加者約百十人は、目を閉じて聴き入ったり、大きな声で合唱していた。

（新里健）

患者や家族を前にギターを弾きながら「赤とんぼ」を歌う呉竹さん（京都市中京区）

2008年10月27日京都新聞掲載 第1回音楽療法と和太鼓



第1回	参加者	118名
第2回	参加者	126名
第3回	参加者	142名
第4回	参加者	111名
第5回	参加者	93名



2013年7月29日 京都新聞

病気や障害のある人 音色楽しむ

オカリナの素朴な音色に包まれた
ハートシェア音楽会(京都市下京
区ひと・まち交流館京都)



病気や障害のある人
に気軽に音楽に触れて
もらう「ハートシェア
音楽会」が28日、京都
市下京区の一と・まち
交流館京都で開かれ
た。障害者や家族ら約
100人がオカリナ
の合奏のほか、フルー
トや琴などのアンサ
ンプルの音色を楽しん
だ。

音楽療法としてパー
キンソン病の人たち向
けに和太鼓コンサート
を開いてきたNPO法
人「パーキンソン病支
援センター」(下京区)
が初めて開催した。
京都や大阪を拠点に
活動するオカリナグル
ープは「さとうきび畑」
や「与作」などを披露。
アンサンブルグループ
はクイズを交えて会場
を沸かせた。ラテンボ
ーカリストと打楽器奏
者によるラテン音楽の
演奏もあった。
(中村幸恵)

ハートシェア音楽会

代替補完治療として効果の高い音楽療法。
すばらしい「音楽の効果」を体感しましょう。

2013. **7.28.(日)** (開場:午後1時)
午後1時30分~4時

入場料:1,000円 付添の方:500円
*付添の方は1名様まで500円、2名様以上、お一人1,000円



オカリナがぶぶ
心にしみるオカリナの素朴な
音色が、優しく会場を包む。



ふくださとみ
& ポップ 渋谷
ラテンヴォーカルと
ラテンパーカッション
の情熱的でダンス
ブルなステージ。



とりしあんて
ピアノ、フルート、ヴィオラ、箏
の個性的なアンサンブル。



ひと・まち交流館 大会議場 (京都市下京区河原町五条下る東側)

お問い合わせ:090-3718-1564

7月1日~25日の間に、裏面の申込書に記入の上、FAXか電話にてお申し込み
ください。受付番号をお知らせいたします。詳細は裏面をお読み願います。

ハートシェア音楽会は、パーキンソン病をはじめとする難病や障がいのある方々にひとでも多くご参加いただき、心から楽しんでいただける音楽会を目指しています。

- 共催: NPO法人パーキンソン病支援センター、紡ぐネットワーク
- 後援: 京都府、京都市、社会福祉法人京都府社会福祉協議会
社会福祉法人京都市社会福祉協議会
- 後援・助成: 公益財団法人京都新聞社会福祉事業団
- 協力: 京都市市民活動総合センター、NPO法人チャイルドライン京都
NPO法人京都難病支援パッションネ、NPO法人フェア・プラス
こども芸術教室KidzLab.(順不同)
- 協賛: 京都中央信用金庫